

モニター高さ調整機能、折り畳み機能、モニター縦横 90° 回転機能により、視認性、可搬性、施工性、収納性を大幅に向上するディスプレイスタンドの試作開発

Products

取扱い商品

金属加工で 65 年の実績!! スチール製品の OEM で実績豊富
金属加工を開発から納品まで一貫して製作 株式会社 一ノ坪製作所

当社は、創業以来、一貫してオフィス家具や事務機器用ラック等のスチール製品の OEM 製造を手掛けてきた。顧客の企画・開発の段階から積極的に参加することで、量産化に向け顧客が要求する機能や品質、コストを達成しながら付加価値の高い「モノづくり」を提案。また数年前より自社オリジナル製品としてディスプレイスタンドの販売も開始した。



【 自社オリジナル商品例 】



BackGround

事業化にいたる経緯・背景

【 ディスプレイスタンド通算 15,000 台の販売実績 】

自社製品として平成 19 年から、テレビ会議、WEB 会議に使用する大型モニターを据え付けるディスプレイスタンドの開発、製造、販売を開始。これまで通算 15,000 台を大手企業に販売してきた実績がある。

【 マーケットの主流は大型モニターを据え付けるだけの単機能製品 】

当社及び同業他社においても、ディスプレイスタンドは大型モニターを据え付けるだけの単機能製品が市場に多くラインナップされており、高さ調整や回転機能など、ユーザーにとって使い勝手がよくなる付加機能がついた製品は少なかった。

※ 従来市場は単機能型が主流

単
機
能

- 当社販売実績
 - ・テレビ会議用
 - ・Web会議用等

大型モニター据え付け
ディスプレイスタンド
15,000 台 販売

【 利便性を向上させる付加機能製品へのニーズの高まり 】

大手の取引先様より、モニター高さ調整機能、折り畳み機能、モニター縦横 90° 回転機能等、利便性を向上させる付加機能を搭載したディスプレイスタンドへの要望が高まり、既に開発に取り組んでいたモニター高さ調整機能の動力伝達部におけるコストダウン、精度、機能向上を含める付加機能を盛込んだディスプレイスタンドの開発に取り組むこととなった。

※ 付加機能へのニーズの高まり

付
加
機
能

- ・モニター高さ調整機能
- ・折り畳み機能
- ・モニター縦横 90° 回転機能

高機能・高精度の
試作開発の必要性

株式会社 一ノ坪製作所

■設立 昭和 33 年 6 月
■事業内容 事務用スチール製品の設計・開発及び製造
■本社所在地 奈良県香芝市今泉 625
■URL <http://www.ichinotsubo.co.jp>

■資本金 4,500 万円
■従業員数 80 名
■TEL 0745-76-3181
■E-MAIL request@ichinotsubo.co.jp



■代表者 代表取締役社長 一ノ坪 英二

当社は、創業以来、一貫してスチール製品の OEM 製造を手がけてきた企業です。「メーカー様のオーダーに高次元でお応えするのは当たり前、プラスαの付加価値を想像してこそ意義がある」。そんな姿勢で着実に技術を積み重ね、良いものはどこよりも早く取り入れ、これまで以上に独自のポジションを確立していきたいと考えています。

Contents

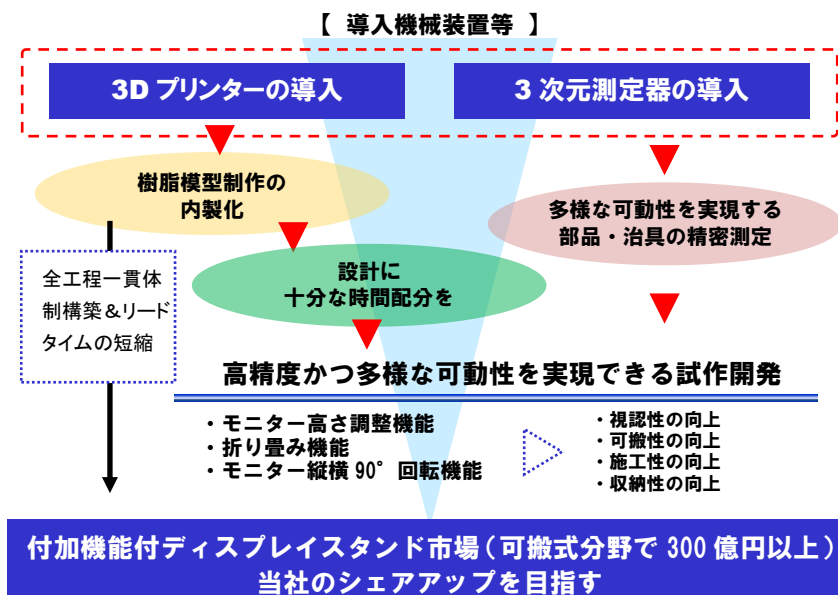
事業の概要・成果

- 樹脂模型制作を 3D プリンターにより内製化、試作開発にかかるリードタイムを短縮
- 3 次元測定器の導入で、多様な可動性を実現するための部品、治具を精密に測定

樹脂模型制作を外部への発注から 3D プリンターにより内製化することで、スピーディな検証を可能とし、試作開発にかかるリードタイムを短縮。

さらに 3 次元測定器の導入で多様な可動性を実現するための部品、治具の精密測定が可能となった。

これにより、試行錯誤しても全行程一貫体制によるリードタイム短縮が図れ、同時に高精度かつ多様な可動性（高さ調節、折り畳み、縦横回転 etc）を実現する試作開発ができるようになった。



Task

事業化における課題

課題 安全基準実証試験は必須の条件

納品先の各メーカーにはそれぞれ製品の耐久性、倒れにくさ等々に関する安全基準があり、その基準を満たしていることを試験により実証・確認する必要がある。

そのために、外部の試験機関に依頼したこともあるが、ほとんどは当社内の試験設備にて検証を行っている。

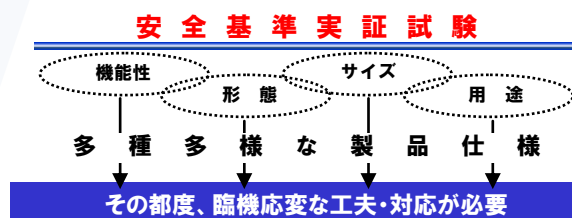


Solution

解決への道筋

施策 その都度臨機応変に工夫・対応が必要

製品機能・形態により試験手法は様々で、既存設備ですべて対応できるわけではない。キャスターで段差を越える試験等は工夫してモーターでけん引する手法を考えた。製品仕様は多種多様化しつつあり、安全基準の試験・検証の方法も、その都度臨機応変に工夫・対応していかなければならない。



Future

今後の事業スケジュール

【単機能ディスプレイスタンド年間売上】

- 1 年目：1,200 万円目標
- 3 年目：5,000 万円目標
- 5 年目：1 億円目標

【付加機能付ディスプレイスタンド年間売上】

- 1 年目：800 万円目標
- 3 年目：5,000 万円目標
- 5 年目：1 億 5,000 万円目標